

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 7月28日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 6 件

| NO. | 号機等 | 不適合件名 | グレード | 発見日 |
|-----|-------------|--|------|-------|
| 1 | 1号機 | 廃棄物処理設備補機冷却系熱交換器(A)電鉄流量計(P41-FI302A)において、電解鉄イオンを流しても0.8×100リットル/分から指示が動かないことが認められたため、当該計器を交換、修理。 | GⅢ | 7月23日 |
| 2 | 1号機 | サービス建屋退域モニタNo. 8において、頭部検出器の「検出器計数異常」警報の発生により退域モニタNo. 8が正常に動作しないことが認められたため、当該検出器を交換、修理。 なお、当該検出器は7月25日に交換を行い、現在、退域モニタNo. 8は正常に動作している。 | GⅢ | 7月24日 |
| 3 | 1号機 | 換気空調系コントロール建屋電気品室の電気設備(限時継電器、冷凍機(B)電動機、送風機(B)、排風機(B)、冷凍機潤滑油ポンプ(B)電動機)において、2号機の換気空調系コントロール建屋電気品室冷凍機の点検が2022年12月まで延長されたことにより、1号機側の冷凍機を点検停止した場合、コントロール建屋電気品室の温度が40℃を超えるおそれのあることが認められたため、1号機換気空調系コントロール建屋電気品室の電気設備の点検は、社内マニュアルに則り点検期限延長の妥当性評価を行い、点検期限を2023年5月まで延長する。 | GⅢ | 7月25日 |
| 4 | 3号機 | 主排気筒放射線モニタサンプポンプ(A)運転時間計(TMQ1A)において、計器点検後にサンプポンプを運転した際に運転時間計が動作していないことが認められた。 なお、サンプポンプの運転時間は機器の制御や、記録の管理に用いていないことから、交換、修理は行わず、当該計器を隔離する。 | GⅢ | 7月21日 |
| 5 | 3・4号廃棄物処理設備 | プラスチック固化系窒素製造装置空気圧縮機(A)出口エアートラップ(G23-D2015A)において、開固着による空気漏えいが認められたため、当該出口エアートラップを点検、修理。 なお、当該出口エアートラップの入口側の弁を閉め、空気の漏えいは停止。 | GⅢ | 7月23日 |
| 6 | その他 | 水処理建屋電気品室空調機(1)において、漏電しゃ断器の動作により自動停止したことから調査した結果、当該空調機の絶縁抵抗値が0.142MΩ～0.003MΩ(判定基準0.2MΩ以上)であったことが認められたため、原因調査、対策検討。 なお、水処理建屋電気品室空調機(2)により、電気品室は換気、冷却をできていることから、室内環境への影響はない。 | GⅢ | 7月22日 |